

見学者・入園希望者からのQ&A

大池けいあい保育園

- Q1～ 保育内容について（遊び、アクティブラーニング、文字、プール、園外活動、おむつ）
- Q13～ 給食・食育について（おやつ、好き嫌い、アレルギー、玄米）
- Q16～ その他（駐車場・セキュリティー・保護者会・昼寝・与薬）

Q1 「知的教育は行わない」とのことですが、何をされるのですか？

- A 文字書きや計算、フラッシュカード、体育教室、合奏、課外教室などはありません。とことん遊んで、モリモリ食べて、ぐっすり寝る生活を提供していきます。遊びの中で子どもたちのやりたいことや興味を持ったものを形にします。絵本や物語、歌の世界が「ごっこ遊び」や「表現遊び」、制作活動に広がることがあります。それを遊びと捉えるか教育と捉えるかは大人の視点(都合)だと思います。私たちは、子ども達が「今日も楽しかった」「明日も来たい」と、心から思える保育園生活を提供していきたいと思えます。

Q2 遊びの体験学習重視とは、どのようなことですか？

- A 子どもの遊びには段階があります。0歳期に口や唇で、手足や玩具などいろいろなものをなめて遊ぶ時期があり、その後、ベチャベチャ遊び、ヌルヌル遊び、砂での形遊び、見立て遊びを経験し、ままごとなどのごっこ遊びへと発展します。そのような発達順序に沿って、乳幼児への原体験～本物に触れる体験を保障したいと考えています。年長になると、生活に密着した清掃作業やそうきん縫いなどの手仕事が発展し、自分で布にデザインを描き、切って縫ってぬいぐるみを作るなどの活動につながるようになります。そのような体験・経験を踏まえながら子どもたちは、アクティブラーニングとして、自らやりたい事を発信し、行動に移してくれるようになります。

Q3 アクティブラーニングってどんな教育ですか？

- A 保育園の活動として、子どもたちが主体的に、対話的に、なぜ？どうして？と思うことや、やってみよう！面白そう！という発信を毎日のワクワクにつないでいくことと考えます。

行事の一例：令和2年度の年長児の生活発表では、自分たちで劇のシナリオを作り、役割を決め、毎日配役も交代しました。当然、発表会当日の配役も朝の話し合いで決め、当日の進行役のアドリブMCにに応じて、生き生きと演じる子ども達の姿を見てもらうことができました。

令和3年度の運動会は花畑園芸公園の芝生広場を借り、下見や練習に行くことも無く、ぶっつけ本番の運動会でした。

持っていく物、活動内容、役割分担も子どもたち主体に話し合って決めます。

競技種目やチーム編成、発走順番などを子どもたちが話し合い、当日の運動遊びの道具出しや片付けも、日ごろの活動通りに子どもたちだけで行いました。リレーでは、3～5歳が2チームに分かれ、その場で5～6分かけて出走順を話し合い、一人も欠けることなく最後までバトンをつなぐことができていました。

このような活動を大人の世界では、「自治活動」と言いますが、当園では子どもたちの普段の姿です。子どもたちの適応力ややる気・創造力・意志力・決断力・行動力などを育てるために、ゆったりとした時間があり、友達とじっくり遊びながら自分たちが主体的に考え、行動し、悩み、答えを導きだしながら達成感を味わうことを保障します。そのために「待ってあげられる」大人のかかわり方を大事にします。おどさない、せかささない、比べない、叱らない保育をすすめます。

2歳までの非認知能力、愛着形成が重要視されています。ハイハイや外遊びによる体幹や手指の育成と自己肯定感の醸成のために、「安心して失敗できる毎日」「チャレンジし続けられる毎日」を保障します。

Q4 遊びで運動面も育てるとのことですが「筋力がつくと言えない」と聞きましたが？

- A 「筋力トレーニング」のようなことをするのは良くないと思います。当園では、身体を正しく支えるための強さとしなやかさを育ててあげたいと思っています。「ハイハイ」、「高ハイ」、「両生類のようなハイハイ」などで体幹を育てたいと思っていますが、体操の選手を育てようとは思っていません。幼児期に必要なことは筋トレではなく、筋肉や体を柔らかく保つ柔軟体操（ストレッチ）です。小学校の授業で、40分間の姿勢保持が難しい子が増えています。体幹が育っていないため、疲れてきて、意識の中心は「きついなー、早く終わらないかなー」と、時間が気になって、学習に身が入りません。学習に集中するためにも、体幹の育ちが大事です。

Q5 文字指導などが無くても、小学校の学習は大丈夫ですか？

A 保護者が一番気になる事だと思いますが、小学4年生（10歳）頃には、明確な結果として現れます。小学校入学時には、少し気後れする部分もあるかもしれませんが、体幹と集中力、記憶力、学習力、考察力が身につけているため、すぐに追いつき追い抜きます。

当園で文字指導はしませんが、5歳児クラスになると、「あ」から始まる言葉を思いつく限り出し合い、知らない言葉が出てきたらみんなで調べたり、自宅に帰って聞いて来たりしながら、語彙の数と同時にその言葉の意味や使い方を習得し、会話力を高めます。

〇〇ん、〇〇る、〇〇む、〇ん〇ん、などの言葉集めで語彙と言語中枢の展開を広げていくため、文字に興味を持ったらあっという間にひらがな全部を覚えてしまい、秋ごろからは、給食ボード（今日の献立）も当番の子どもが書いています。

*身体が育っている子は、集中力が続きます。クネクネ・ダラダラしません。

*集中して夢中になって遊べる子は、学び始めたら吸収力が高いです。

*5歳児は30分の素話「読み聞かせ」が聞けるようになります。

頭の中でストーリーに沿った映像が見えるようになると、話が好きになるし、本・教科書をちゃんと読むようになります。よく読む子は、学習力・理解力がつきます。

*しっかり遊び、仲間と切磋琢磨した子は、よく質問しますし、学習力と人間力が高いです。

「なぜ?」「どうして」「おかしい」と問うようになり、わからないことに「わからない!」

「もう一度教えて!」と言えるようになります!

Q6 3歳以上の子どもたちの室内遊びは、どのような内容ですか？

A 3歳以上は、基本的には子どもたちのやりたい遊びを広げていきたいと思っていますが、遊び慣れていない子には、遊ぶことの楽しさを体験させ、夢中にさせることから始めます。その後、子ども同士で誘いながらごっこ遊びへと発展していきます。

例：3歳児の室内活動実績（5月～7月）

1 窓際をロケットの発射台と見立てて遊んでいる子をみて、窓に星を作って貼ろうと提案があったため皆で星を製作。

2 星だらけの窓下で宇宙ステーションごっこをしていたら、子豚のプー、フー、ウーの家に展開し、子豚ごっこで毎日「プイプイ」言いながら生活。

3 「せんたくかあちゃん」の絵本の発展で室内に洗濯ひもを張って、洗濯した（作った）

Tシャツや子豚や鬼などをつるして、室内が洗濯物だらけになって生活していました。

例：5歳児

なわとびの三つ編み、裁縫で針山やぞうきん縫い、自由遊びの時間にトランプ、ウノ、オセロ、折り紙など机上遊び、9月以降は家庭からケーキやお惣菜の空容器を持参してお店屋さんごっこの商品作りなどを楽しんでいました。1月からは、時間を見つけて各クラスへの卒園記念プレゼントとして、ぞうきんやサイコロ、パズル、かるた等を作っていました。

Q7 プール活動はあるのですか？

A 毎年、3m×5m、深さ50cmのプールを組み立てています。

夏のプール活動での心肺機能の育ちが、冬の感染症への抵抗力になるため、コロナ禍でもプール活動は継続したい活動です。

Q8 園外活動はどのように実施してありますか？

A 野間大池公園や上水公園など近くに公園も多いため、園外保育として散歩や公園散策、園外活動等に積極的に出向いています。5歳児は鴻巣山まで1.5kmを午前中の散歩として3時間程歩くことも通常活動として行っています。（歩育活動）

Q9 夏の暑い時にも外遊びは実施されるのですか？

A 熱中症警報等に注意しながら、短時間でも毎日外遊びを実施したいと思っています。

目的は、

1 外遊びで遠くを見たり、キョロキョロすることで視力を上げる。

2 紫外線を浴びて遊び、ブルーライトにやられない強い目を育てる。

3 近視を抑えるバイオレットライトを浴びて、目が悪くなるのを防ぐ。

4 広い場所で広範囲を見ながら遊ぶことでブラインド（視界・視野）を広げる。

5 今後、運動会や野外でのクラブ活動は、九州北部でも30℃以上の中で行われることが想定されます。その時、気温を気にせず夢中に打ち込める適応力を育てておきたいものです。

暑い中での水遊び～適度な時間で切り上げてのクールダウンをくり返しながらか、暑さへの適応力を上げてあげたいと思っています。冬の寒さも同じで「寒いから暖かいように…」と、子どもに無理をさせない対応は、子どもを弱くする「残酷な心づかい」だと言われています。

Q10 見学中に子どもたちが、「先生」と呼ぶ声をほとんど聞かなかったのはなぜですか？

A 日頃の生活の中で子どもたちから「〇〇していいですか?」や「どうしたらいいですか?」と問われた時に、「どうしたらいいと思う?」「自分で考えてみよう」と、なるべく答えを言わないようにしています。そんな日常を過ごしているため、いろんな場面で大人に頼らず自分たちで考えて行動していたのだと思います。

Q11 3・4歳児が室内での自由活動をしているのに、とても静かなのに驚きました。なぜですか？

A 1つは、ホールを含め部屋の天井全面が吸音ボードのため、音が響かない構造になっています。もう1つは、大人が大きな声を出さないからだと思います。大人が子どもに言葉を掛ける時、その子のそばに行って小さな声で話します。その結果、子どもたちも大きな声を出さない生活が定着したため、隣の部屋から見学しても静かに感じるのだと思います。

Q12 園では「布おむつ」とのことですが、持ち帰りはあるのですか？

A 布おむつは「レンタル」なので持ち帰りや洗濯は一切ありません。保育園に登園したら布おむつに交換し、帰りはご自宅用に替えて帰ります。レンタル月額は年齢、頻度により異なりますが、参考として
0歳：4,000円 1歳：3,000円 2歳：2,000円
・おむつカバーのみ個人で用意していただき、持ち帰りをお願いしています。

Q13 子どもの食べ物「好き・嫌い」には、どのように対応されますか？

A 当園では、子どもと大人との信頼関係を重視し、嫌いなものは、まずは、「外してみる」から始まり、本人の身体と食の成長をみながら、「一口食べてみない？」と誘っていきます。一口でも食べようと思うようになるのに、1週間なのか1か月なのか、3カ月なのか…「信じて待つ力」が試されます。当然、卒園するまでには「出されたものは全て、時間内においしく楽しく食べる」子どもに育てていきたいと思っています。

Q14 アレルギー食への対応は、どのように考えてありますか？

A 栄養士も勤務しています。医師の診断に従って、出来る限りの代替食（除去食）を用意させていただきます。

Q15 玄米は幼児にも大丈夫なのですか？ 農薬は大丈夫ですか？

A 離乳食では白米、0・1歳児は7分突きの白米、2歳児からは玄米を提供しています。年齢、そしゃく力、日ごろの食事状態を把握しながら、徐々に進めていきます。そのために、給食室には7升炊きの圧力釜と別に、3升炊きのガス炊飯器を準備しています。玄米なので農薬も気になるのですが、当園では久留米から無農薬米を購入していますのでご安心ください。

Q16 送迎用駐車場はあるのですか？

A 保育園から100mほど離れたところに駐車場があります。保育園の前にも4台分の駐車スペースがありますが、0歳児の保護者と妊婦さん優先です。尚、見学のお客様は、保育園の前に駐車してください。駐車は全て無料です。

Q17 玄関のセキュリティはどのようになっていますか？

A 保育園を囲むフェンスは高さ120cm以上です。玄関の施錠は電子錠です。玄関で呼び鈴を鳴らしていただき事務所から解除する仕様です。

Q18 駐車場や玄関、園庭などに防犯のためのカメラ設置はありますか？

A 園庭、裏口、ホール、各部屋、事務室にカメラを設置しています。夜間、休日もセコムの監視が稼働しています。

Q19 保護者会はあるのですか？

A 保護者会は未設置です。各行事の時々で、保護者の皆様にご協力をお願いしながらすすめてまいります。

令和3年度の具体例

- ・運動会の日に協力できる保護者に荷物運び等の協力をしていただきました。
- ・卒園式では、卒園児の保護者代表のあいさつや記念行事の取りまとめをお願いしました。

Q20 年長組はお昼寝していますか？

A 基本的に0歳児～4歳児までのお昼寝を想定しています。「睡眠と脳科学」を参照すると、脳神経の8割を視神経がしめていて、目を閉じて静かに休むことで脳がとて休まり情緒が安定するため、午後からの活動が落ち着いて実施できます。そこで、5歳児はお昼寝ではなく休憩時間として、ゴザの上で休息をとります。寝なくても、10～20分間、静かに目を閉じて休憩するだけでも情緒の安定と休息効果は大きいです。

Q21 お薬を飲ませたり、塗り薬の塗布などは、対応していただけるのですか？

A お薬は、ご自宅で与薬していただくようお願いいたします。一日3回と処方されたお薬は、保育園に通園している旨を医師に伝え相談してください。塗り薬も同様です。なお、保育園での与薬がどうしても必要な場合は、「与薬依頼書」(当園HPよりダウンロード)を提出していただいたうえで与薬します。市販のお薬は一切受け付けられません。